

Yumeken

春

2024 Vol.699

◆特集○話題の焦点

令和10年、
滋賀県に高等専門学校がやってくる!

◆夢インタビュー

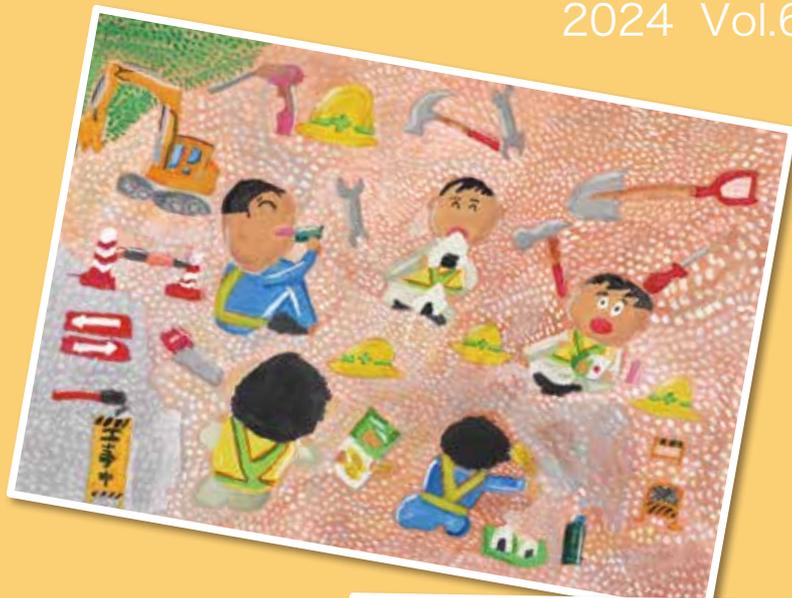
琵琶湖の暮らしの風景を守るため
環境建築デザインの世界から漁師へ

◆行ってみよう

『びわこ箱館山』

◆おじゃまします

株式会社ヤマタケ創建



令和10年、滋賀県に高等専門学校がやってくる!

令和10年4月、野洲市市三宅に開校が予定されている滋賀県立高等専門学校。建設系の専門コースも開設される予定のため、将来の建設業を担う人材育成への期待が高まっています。

新しい学校で学生はどのように学び、どんな人材に育っていくのか、また、高専ができることで滋賀の経済や産業、さらに地域社会にどのような波及効果が期待できるかについて考えてみることにしました。



01 高等専門学校ってどんな学校なの?

高等専門学校（高専）について、耳にしたことはあっても、どのような教育機関なのかを理解している人は意外に少ないのではないのでしょうか?

専門学校の一つとされている人もいるかもしれませんが、高専は中学卒業後に進学し、5年間（商船科は5年6カ月）、技術者として必要な専門知識や実践的な技術を学ぶ学校です。卒業すると「準学士」の称号が付与されます。一方、専門学校は高校卒業後に入学し、1〜4年間専門知識や技術を学ぶ学校で、卒業後は「専門士」の称号が付与されます。高校が中等教育機関なのに対して、高専は大学と同じ高等教育機関です。戦後の経済成長を支える技術者を育成してほしいという産業界の要望にこたえて、昭和37（1962）年に初めて開設されました。当時、海外にはなかった日本独自の教育システムです。

今では全国に国公私立合わせて58校の高専があり、約6万人の学生が学んでいます。理工学系の学科や商船学科のほか、近年は時代のニーズに応じて情報デザイン学科や国際流通学科、応用化学科などの新しい学科を開設している高専もあります。

文部科学省のホームページを見ると高専の学びの特色を以下の5つの項目で説明しています。

- 5年一貫教育
- 実験・実習を重視した専門教育
- ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、デザインコンペティション等の全国大会開催

中学卒業後、5年一貫教育で専門知識や実践的な技術を学ぶ学校。

- 卒業生は産業界から高い評価
- 卒業後、さらに高度な技術教育を受けるための専攻科（2年間）を設置

5年一貫教育で、学習指導要領の制約を受けない柔軟なカリキュラムが特徴で、実験・実習を中心とした学びを通して専門知識や実践的な技術を習得し、応用力を身につけて価値創造ができる高度専門人材を育てることを目指しています。

教員は大学と同じく教授、准教授などと呼ばれ博士学位をもった教員が多く、より専門性の高い知識や最先端の技術を指導します。毎年テレビで放映される「高専ロボコン（アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト）」では、「発想力と独創力」を合言葉にチームで製作したロボットで競技に挑み、全国の高専生が技術力とアイデアを競います。

卒業後の進路についても、実践的な知識や技術を求める企業からの求人倍率が高く、さらに2年間の高専専攻科への進学や大学への編入など、多様な選択ができるのが魅力です。



湖国 街かどウォッチング

新しい施設や街の話題をレポートするコーナーです。

『伊勢遺跡史跡公園』

(守山市)



長径約37.5m、短径約14.9mの楕円状の外観が特徴的な遺構展示施設



1辺約9mの正方形の建物「楼観」の柱の位置を示した「楼観跡立柱表示」



復元された大型建物の柱の穴を、強化ガラスの上から直接見学できるようになっている。



凹凸をつけた杉材が貼られた遺構展示施設の天井。一部をスクリーンとして利用している。

守山市にある伊勢遺跡は、弥生時代後期（約1900年前）の大規模な集落遺跡です。集落の規模は南北450メートル、東西700メートルあり、弥生時代後期の遺跡としては全国最大規模で、建築や測量の高度な技術を用いて造営された複数の大型建物跡が見つかっています。政治やまつりを執り行う儀式のための建築群であったと考えられていて、日本の国の成り立ちを知るうえで重要な遺跡として2012年に国史跡に指定されました。

そして、遺跡を保護しつつ歴史学習などに活用するため、遺跡の上に史跡公園の整備が進められ、令和5年11月に「伊勢遺跡史跡公園」が開園しました。

施設内には遺構展示施設と管理棟のほか、園路と芝生広場が整備され、塔のような高い建物「楼観」があった場所には、柱を立てて建物の位置が表示されています。また、遺跡の中心部には大型建物群を掘り出した「方形区画」と呼ばれる特別な空間があり、その板垣の一部も復元展示されています。

方形区画の中にあつた一棟の大型建物の上に遺構展示施設が建設されています。楕円形の屋根で覆われた特徴的な建物で、公園周辺には住宅が立ち並んでいることから、高さを抑えて圧迫感を感じさせないよう配慮されています。

展示施設の床には大型建物の柱の穴が復元されていて、強化ガラスの上から大

きさや形を体感することができます。細かい凹凸をつけた杉材が貼られた天井は、一部がスクリーンになっていて、伊勢遺跡のなりたちや特徴を紹介する映像を大画面で鑑賞できるようにしています。

国史跡の中心部に存在する貴重な文化財を保護し、遺構展示施設が建設されるのはこれまでに例のないことで、今後の文化財の保存と活用を考える際の一つの事例になるのではないかと期待が寄せられています。

● 守山市伊勢町80番地
● 9:00~17:00
● 休館日/火曜日、祝日の翌日、年末年始 ※公園の入口も閉鎖します。
● 入館料/無料
● TEL・FAX/077-599-3223

写真提供：守山市教育委員会

CONTENTS

湖国街かどウォッチング……………2	「伊勢遺跡史跡公園」(守山市) ……3	特集・話題の焦点……………3	令和10年、滋賀県に高等専門学校がやってくる!……………6	行ってみよう……………6	「ひわご箱館山」……………8	おじゃまします……………8	株式会社ヤマタケ創建……………8	絵画コンクール入賞作品……………10	夢インタビュ……………10	琵琶湖の暮らしの風景を守るため……………13	環境建築デザインの世界から……………13	漁師へ……………14	駒井 健也さん……………14	夢けんひろば……………14	こと・もの・滋賀……………16	水谷醬油醸造場……………16	「日は好日」……………17	「仕事の達人・遊びの達人」……………17	アメフトの歴史を繋ぎ、スポーツで地域を元気に……………17	伊藤和真さん……………17	クイズ……………18	近江っまいもの紀行……………18	読者の声……………18	取材ごぼれ話……………19	編集後記……………19	表紙写真……………19	夢けんひろば絵画コンクール……………19	最優秀賞・優秀賞受賞作品……………19	10〜12ページに掲載……………19
-------------------	---------------------	----------------	-------------------------------	--------------	----------------	---------------	------------------	--------------------	---------------	------------------------	----------------------	------------	----------------	---------------	-----------------	----------------	---------------	----------------------	-------------------------------	---------------	------------	------------------	-------------	---------------	-------------	-------------	----------------------	---------------------	--------------------

02 なぜ、滋賀に高専を
開校することになったの?

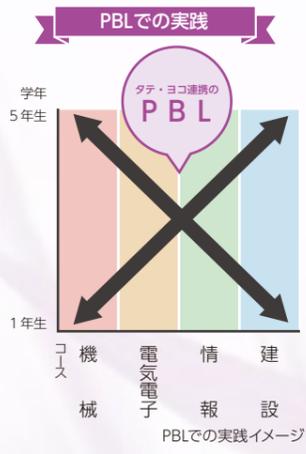
滋賀県は全国有数の内陸工業県ですが、将来にわたり国際的な競争力を維持し、今後も持続的に発展していくためには、専門的な技術や知識を身につけた人材を育てていくことが大切になります。

県では令和元年度以降、これからの滋賀の産業や地域の発展を支える人材を育てるために必要な教育機関について、検討を重ねられてきました。検討の中で県内の企業を対象に行われたアンケートでは、高専の開設を希望する声ももっとも多く寄せられたことなどを踏まえ、最終的に教育機関を高専に絞り込み、令和3年には「県立」で設置することを表明されました。また、並行して設置目的や学びの方向性などについて検討を重ねられ、令和5年3月には滋賀県立高等専門学校構想推進本部での議論を経て、滋賀県立高専の全体の構想や計画を描いた「滋賀県立高等専門学校基本構想1.0」が発表されました。

現在、高専が開設されていないのは埼玉県、神奈川県、山梨県、佐賀県、滋賀県の5県のみですが、高専が開設されることによって、県内の企業や他の教育機関・公共団体などと連携し、技術の提供や共同研究を進めることで、地域社会や産業の活性化を図ることが出来ます。例えば企業が高専の教員や学生とともに研究や開発を行うことで、企業の技術者にとっても視野を広げたり、新たな学びが得られる機会が生まれます。

また、これまで滋賀県内の高専進学者数は全国平均に比べ低い水準にとどまってきましたが、今でも県外にしかなかった高専が県内に開校することで、県内の子どもたちが中学卒業後の進

スや学年の垣根を越えて課題解決に取り組み、「タテ・ヨコ連携のPBL (Project Based Learning: 課題解決型学習)」の実施が検討されています。



さらに、地元企業等での体験学習、インターンシップなどのほか、アントレプレナーシップ教育 (起業家に必要なチャレンジ精神や情報収集力、リーダーシップ、コミュニケーション能力などを伸ばす教育)、ビジネススキル、キャリアデザインなどもカリキュラムに組み入れられる予定です。

また、滋賀・琵琶湖を教材や学習のフィールドとした学びを掲げているのも大きな特徴です。近江商人の思想や環境保護活動の精神を引き継ぎ、地域に誇りと愛着を持ち、主体的に地域の課題を解決する行動力を養います。

課題解決型学習を通して、分野や学年を超えて連携しながら実践力を磨きます。



路を決める時に高専という選択肢を選びやすくなるというメリットもあります。

これまであまり馴染みのなかった高専が進路の一つに加わることで、理系志望の学生が減っている中においても、子どもたちが高専の学びに関心を持ったり、技術に憧れたりして、次の時代を担う人材が多く育っていくといったように、地域に良い循環が生まれることが期待されています。

企業の競争力を高めたり、地域の課題を解決するための高度専門人材を育てるため。

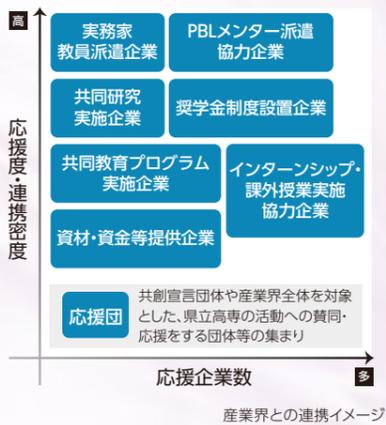


03 滋賀県立高専の学びの特徴について教えてください!

滋賀県立高専が育成するのは、「基礎となる技術力を備えた上で、それを活かして社会や時代の変化を敏感に読み取り自ら変化し続ける人材」です。もう少し具体的に示すなら次のような人物像です。

04 滋賀県立高専ができたら滋賀はどう変わるの?

実践力を身につけるためには、産業界や地域社会、学術機関との連携・共創が重要になります。そのためには、滋賀県立高専だけが恩恵を受けるのではなく、関与するさまざまな機関や地域社会がメリットを享受できる仕組みをつくるのが大切になります。



今後、建設が始まる学校施設についても、学外の技術者や研究者などとの交流拠点となる施設が設けられる予定です。ここには図書館のほか、共同研究室や交流ラボ、研究発表や講演に利用可能なホールなども計画されており、技術者や研究者のみの利用だけでなく、地域の方を対象とした科学教室などの会場としても活用することができ、地域産業や社会に貢献することを目指しています。

また、雑木林などを残した環境保全エリアを地域の憩いの場として開放するほか、環境教育の実践の場としても活用する予定です。令和6年2月8日に行われた滋賀県立高専共創フォーラム「創立記念講演&トークセッション」イベントに、たくさん地元企業などが参加したことからも、滋賀県立高専への関心の高さがうか

滋賀県立高専が育成する人物像

- 次代の滋賀と
- その産業を支える「高度専門人材」
- ↓ 将来の社会や産業を支え、リードする中心的な人材となることを期待する高度専門人材
- 問題発見・解決力の
- 素養を兼ね備えた人材
- ↓ 自らの力で解決のための道筋を見つけ、実行する人材
- 世界で意思疎通が図れる言語・コミュニケーション能力と多様な人々とながれる積極性を有する人材
- 近江の心が備わった人材
- ↓ 課題解決にあたって関係するすべての者の豊かさや幸せを追求できる人材

滋賀県立高専の学びは、各コース共通の一般科目 (数学、自然科学系、人文・社会科学系) と情報技術を学び、2年生から、「機械系」「電気電子系」「情報技術系」「建設 (環境・インフラ系)」の4つの専門コースに分かれ、徐々に専門知識と技術を学んでいきます。特に情報の利活用ほか、プログラミングやAIなどの情報技術については全学生共通の基礎力として、実践の中で活用していきけるようになることを目指しています。

そして自ら課題を見つけ、分野を超えて連携、協働しながら解決策を考え、行動していきけるように、実践に通じた学びを重視し、コー

がえます。トークセッションでは、現役高専生が地元企業の生産ラインの遠隔監視システムを開発する「PBL」の事例も紹介されました。

滋賀県立高専の開校後は、企業と高専との様々な連携・共創が期待できます。例えば建設会社でのICT (情報通信技術) の導入や活用などについて、PBLを通じて学生と企業が一緒に研究開発を行ったり課題解決に取り組むといったことも期待できます。

開校に向けて、今後は地元の産業界や県民の理解を深め、滋賀県立高専のより良い学びを実現するため、情報発信や意見交換を行い、連携・共創の具体化を目指していく予定です。

学外技術者や企業などとの交流拠点を整備、協働によって地域や企業の課題解決に取り組みます。

滋賀県の建設業界も期待しています!

現在、滋賀県には土木インフラ系を学べる高校がなく、そのコースに進むにはやむなく県外の高校へ行かざるをえない状況にあります。「地域のインフラを地域で守る」ためには、県内でも技術者を育成することが大切になります。

滋賀県立高等専門学校の開設は、その二、要請に合致したもので、県内におけるインフラ整備とそのメンテナンスを担う次世代技術者の育成だけでなく、リカレント教育等を含め、現役技術者との交流や技術の伝承にも大いに役立つものと、建設業界からも期待が高まっています。



滋賀県立高専共創フォーラム「創立記念講演&トークセッション」イベント

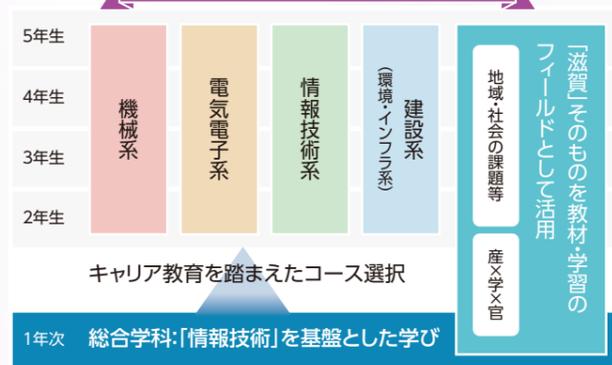


エリアゾーニングのイメージ

カリキュラムイメージ

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生
				卒業研究
				実験・実習科目
			情報技術科目 (情報技術系以外も選択可)	
			各コース共通一般科目	
			一般科目 (数学、自然科学系、人文・社会科学系)	
			専門科目 (講義)	専門科目
			情報技術科目 (情報リテラシー、データサイエンス、プログラミング、AI等)	
			特色科目 (ビジネススキル (近江商人のビジネスマインド)、キャリアデザイン、インターンシップ等)	

県立高専の学科・コース編成



滋賀県立高専の応援団を募集しています!

「県立高専では、企業等の皆様との連携・共創を進めることと「滋賀県立高専共創フォーラム」を設けられています。県立高

されています。その具体化に向けて、「県立高専と各企業等がつながる仕組み」として専の「応援団」として、ぜひ登録を!

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/surveys-alias/kouhyoukakunin>



高島市今津町

びわ湖を一望するビュースポット
グリーンシーズンはアクティビティ満載！
『びわこ箱館山』



びわ湖のみえる丘

びわ湖のみえる丘

ふもとから山頂まではゴンドラで約5分。びわ湖のみえる丘からの眺めは滋賀随一を誇り、昨年の入園者は10万人以上を数えました。4か所のビューポイントに展望デッキが設けられ、青空のもとゆったり座って眺望を楽しむことができます。眼下にびわ湖、遠くには湖北の山々と竹生島、そして目の前には咲き誇る花畑を望み、夏から秋にかけてはゲレンデ一帯でベチューニアやひまわり、ダリアなどが次々に開花して山頂を彩ります。



展望デッキ



高島市にある箱館山といえば、京阪神からも便利なスキー場として長く親しまれていますが、近年、冬をしのぐほどの人気を集めているのが4月末から11月中旬までのグリーンシーズンです。びわ湖を一望するロケーションを生かし、展望デッキや花畑、ジップライン、子どもが楽しめるプレイゾーン、ドッグラン、カフェなどが充実し、次々に新たなアクティビティが登場しています。

ステアーズフラワー

とくに昨年人気を博したのは、花畑のなか天空へと続く階段「ステアーズフラワー」。空に浮かぶ白いドアフレームが現代アートのようで、ここでしか撮れないとっておきの一枚にトライする人が続出したとか。写真映えすること間違いなしのフォトスポットです。



ステアーズフラワー

4つのカフェ

びわ湖のみえる丘と花テラス、第2ヒュッテなどにカフェ、軽食、お土産処があり、なかでも昨年のオープン直後からSNSなどで大きな話題になったのがパフェ専門店LAMP。ランプが灯る店内でランプ型の器に入った旬の味が楽しめます。



カフェLAMP

虹のカーテン

山頂のそよ風にたなびくのは、虹色に染められたカーテン。使われているのは地元の特産品「高島ちぢみ」です。びわ湖へそそぐ清らかな水が育てたやわらかな布は、吸水性の高い爽やかな着心地でファッションブランドからも注目されています。ゆるるカーテンの向こうに見え隠れする高島の絶景もまたシャッターポイントです。



虹のカーテン

ジップライン&巨大ブランコ

スリルを体験したい人におすすめなのがジップライン。山頂から伸びるワイヤーロープを滑車で滑り降りる空中アトラクションで、鳥になって空を飛ぶような爽快感が味わえます。また、森林エリアに設けられたアルプスアドベンチャーは、自然の木々を生かしたネイチャーアクティビティ。安全な装具を付けるので、子どもも楽しめます。ピワコスウィングと名付けられた巨大ブランコは高さなんと6m。大きく漕ぎ出せば、びわ湖に飛び立つような心地にさせてくれます。



ジップライン



ピワコスウィング



アルプスアドベンチャー

風鈴のよし小道

七色の風鈴が彩る小道は、びわ湖の岸辺に生える葦とのコラボレーション。葦は水を浄化する植物でもあり、葦藁の間を抜けて吹く風に800個の風鈴が涼やかに響くようすはどこかノスタルジック。トンネルを進めば虹色のカーテンへと通り抜けることができ、まるで異世界へ迷い込んだ気分させてくれます。



風鈴のよし小道

プレイゾーン

子どもから大人までが思い切り遊べるのがプレイゾーン。オリジナルキャラクター「ハコちゃん」のスライダーやそり遊びヒルズ、巨大トランポリンのほか、夏には水遊びビーチやウォータースライダーも登場します。また、夏の土日休日とお盆の時期には人工雪を降らせて真夏に雪遊びが楽しめるスノーマウンテンも開催されます。



プレイゾーン

ナイトゴンドラ

山頂で過ごす夜とびわ湖の夜景が楽しめることで人気の催し。トークイベントなども企画され、日程をチェックしてぜひ出かけてみてください。



ナイトゴンドラ

秋のコキア

丸い綿毛のような愛らしい姿で山頂を彩るコキア。秋になると緑の葉が紅葉して山肌一面を赤く染め上げます。箱館山の赤いコキアは秋の風物詩の一つになっていて見てたえあり。



紅葉するコキア

- 高島市今津町日置前 TEL:0740-22-2486
- アクセス 国道161号湖北バイパス「日置前ランプ」より約3分 JR近江今津駅より湖国バスで約20分
- 2024年グリーンシーズン 4月27日(土)～11月10日(日)
- ゴンドラ運行時間 <上り>9:00～16:30 <下り>9:00～17:00 ※ナイトゴンドラ開催日は延長あり
- 入園料 大人2,500円、小学生以下1,200円 (3歳以下無料) ペット700円 (ゴンドラ往復・第2ロマンスリフト・プレイゾーン含む) ※その他の利用料金はウェブサイトでご確認ください。



やりがいある仕事にチャレンジしていくために 人材の確保と育成、女性の働きやすさを推進

株式会社ヤマタケ創建

蒲生郡電王町山之上3276

代表取締役社長 竹井 友明

建設と住宅の二つの事業を 両輪に事業を拡充

創業はいまから約40年前の1983年。現会長の竹井信好氏が電機設備の技術を生かしてヤマタケエンジニアリングを立ち上げたことに始まります。以降、顧客ニーズに応えるかたちで建築や土木に強い人材とともに会社を設立し、創業5年後には一級建築士事務所を開設。住宅建築を中心として事業を拡げていきました。

信好氏の長男で現在、代表取締役を務める友明氏は、当初は家業を継ぐつもりがなかつた。同じ業界ではありましたが、家業が木造一般住宅の建築を事業の柱としていたのに対し、友明氏が勤め先で長年携わっていたのは商業施設や病院などRC造の建設事業。経験を重ねて一般建築工事の施工管理を任せられるようになり、面白さややりがいを感じていたといいます。転機となったのはヤマタケ創建が2号建

本社社屋



社内ミーティング風景



建設工事現場



社員・関連事業者が一堂に会する恒例の安全大会



〈施工例〉近江八幡市立健康ふれあい公園

アップをめざすならば一つの受注機会の拡大には平時プラス3人の人材を確保しておかねばならないと友明氏は考えてきました。

折しも厳しい人材難のこの時代、建築を学ぶ新卒者となれば都市部や大手企業にとられてしまいがちです。そこで「いまの学生が仕事に何を求めているのか、机上で考えるより聞きに行けばいい」と思い立ち学校等を訪問。ヒアリングした内容をヒントとして給与体制や勤務時間といった働き方、また社会貢献やその発信方法などの見直しを進めていきました。

働き方の改善で本来業務に注力 選ばれる企業をめざして

「長くも悪くも経理や人事などは従業員が数人だった当時のままの仕組みが続いていました」と振り返る友明氏は、経理を担う奥様とともに帳票のデジタル化から着手。昇給制度や勤怠管理なども改善し、バックオフィス業務の省力化を進めることで、本来の建築・建設業務に注力できる環境を整えました。

とくに女性の働きやすさを考え、総務部

築物を手掛けるようになったこと。「培ってきたものを生かせるかもしれない」と思ったことをきっかけに入社を決め、以降、同社では一般建設事業部門にも注力し、友明氏を牽引役として積極的にRC建築や一般建築施設の受注を進めるようになりました。

「働きたい」と思える環境を つくっていくために

建設部門の拡充にあたり最初の関門となったのは資金面でした。「父は長年、手堅い経営を旨として借入もなく、それもあって会社は安定成長を続けてきました。ただ、大規模工事を受注するためには資金面での備えや設備投資も必要です。借入は長年の方針に反することですから喧嘩もしました。少しずつ受注の体制を整え、受注工事の規模を大きくしていく、実績を積み上げて社内での理解を得るようになったところ、次に課題となったのは人材でした。公共工事など入札の仕事は受注のタイミングを先読みしづらく、かといって規模の面でステップ

門にフレックス制を導入。これは社長夫妻の子育て経験を反映したものであり、社長就任後には「健康経営優良法人」や厚生労働省「えるぼし」、滋賀県「女性活躍推進企業」など次々に認定を受けることができました。現在は社員32人のうち女性8人、さらにそのうち3人が建築土木の技術者という人材構成になっています。

社員の能力向上を促すために資格取得を奨励する一方、それに対する人事評価については資格一つに対して個別に手当を付けるのではなく、資格の組み合わせなどによって業務への貢献度を計り、ベースアップしていく方法を採用。仕事へのモチベーションアップにつなげています。

「私が規模を問わず工事の受注をめざすのは、企業を大きくすることが目的ではなく、やりたいこと、面白い仕事に携わっていきたいという思いから。それに賛同してくれる人材を増やしていきたい」と笑顔で話す友明氏。チャレンジ精神で道を切り拓き続けます。



〈施工例〉愛荘町立山川原地域総合センター



竹井 友明代表取締役社長



〈施工例〉JA全農近江米セントラルターミナル



〈施工例〉ワボウ電子株式会社 浅井工場



〈施工例〉社会福祉法人びわこ学園 かなえ



〈施工例〉社会福祉法人あゆみ福祉会 ホームぼれぼれ



〈施工例〉京進のこどもえん HOPPA近江八幡

「夢けんプラザ絵画コンクール」の審査も11回目となりました。これも参加して下さった皆様や関係者の方々のご尽力によるものだと感謝いたします。今回は「ハイバス工事」や「琵琶湖大橋」など、大きな構造物をパースの効いた構図で描いた作品が目立ちました。とても難しい題材ですが、子どもたちの画力の高さが伺えます。連続する構造物をリズムカルに描くことで、ダイナミックなスケール感のある風景に会えました。これも滋賀県の魅力であると気付かれます。また、地域の資源や環境をテーマにした作品も多く、その意識の高さにも驚かされました。この活動を通じて、未来のものづくりを担う若い世代が、地域の新たな魅力を発見したり、ユニークなアイデアを表現できればと思います。次回も素敵な作品を期待しています。

第11回 『夢けんプラザ絵画コンクール』



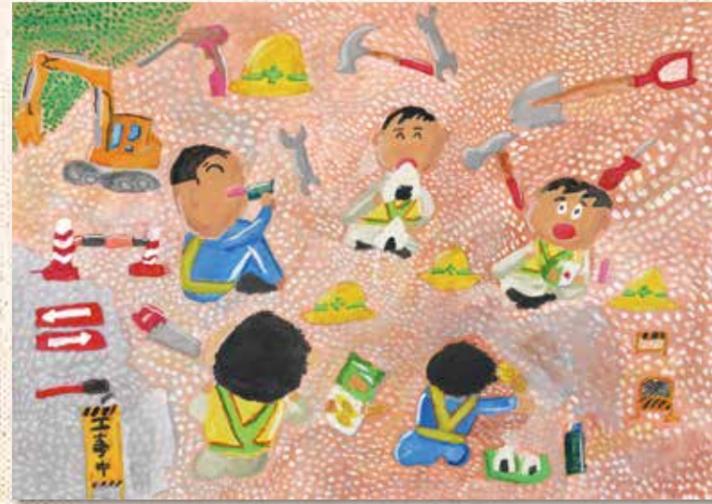
次世代を担う子どもたちに向けて、建設産業の魅力を発信する目的でスタートした滋賀県建設業協会の「夢けんプラザ絵画コンクール」。安全で快適な暮らしを送るためのインフラ整備や、まちの豊かな環境の整備など、多くの役割を建設産業が担っていることや、その役割の大切さに関心を持ってもらい、子どもたちの豊かな感性や観察力、創造力を育むことを目的に開催される、県内の小中学生を対象とした絵画コンクールです。

テーマ

第1部
小学校低学年
の児童

- ①「工事ではたらく人」
工事をしている未来の自分
工事現場でがんばって働く人の様子
思わず働きたくなるような、未来の建設現場
- ②「工事ではたらく機械」
あつたらしいなと思う未来の建設機械
迫力ある建設機械
- ③「滋賀の建設物」
滋賀の建物や町並み
便利な生活を支え、災害から人々を守っている道路、橋、ダム

優秀賞



評
お昼休みの和やかな雰囲気、丁寧な描写によって伝わってきます。特に工事現場で働く人の表情からは、まるで会話が聞こえてきそうです。お弁当や工具類なども丁寧に描かれており、全体的にバランスの取れた秀作です。



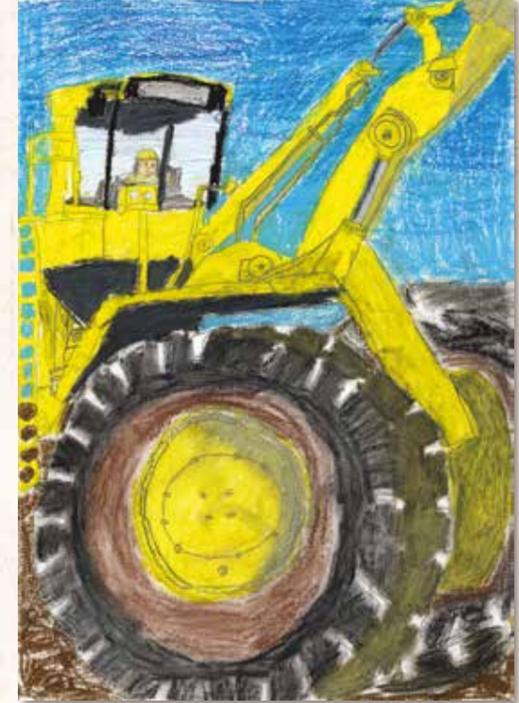
「ブルドーザー」
堀岡 侑華
評 土砂を盛り上げながら進むブルドーザーの力強さが迫力のある構図で描かれています。画材を使い分けることで、機械と自然の対比も効果的です。



「均等に円筒型埴輪が並ぶ久保田山古墳」
衣川 嗣晟
評 手前を大きく、遠くを小さく描くことで、遠近感のある作品です。古墳や階段が規則的に描かれることで、久保田山古墳の美しさが際立ちます。



「こうべと名ごやをつなぐ大きなみち」
安井 夕希
評 緻密なひまわりやトンボの描写、大きな建造物と飛行機雲の対比、そして夏の入道雲。まるで俳句のような風情のある作品です。



「タイヤのでっかいホイールローダー」
五十嵐 朱理
評 「描きたい!」と思える何かに会うことは、創作の原動力です。この作品の場合は、ホイールローダーの大きなタイヤですね。パースの効いた構図と、繊細な空のグラデーションによって、画面に迫力と広がりを感じます。作者の感動を追体験することができる、素晴らしい作品です。



「とても大きなミホトンネル」
石田 一陽
入選



「滋賀県庁舎本館」
北川 尚樹



「滋賀の木を使った琵琶湖に浮かぶ家」
廣山 華音



「未来のユニボ」
中井 通斗



「暑い中がんばる重機と人」
宮本 連月
入選



「工場の主役! ショベルカー」
朴 悠晴



「スーパードローン」
小野 航暉



「はたらきもののショベルカー」
五十嵐 樹平



「きれいなおしろを作っているところ」
岡本 琴音



「けん玉の建築物」
宇野 晴香
優秀賞

評
けん玉の形をした大きな建物を描いたユニークな作品です。まるで超現実主義(シュルレアリスム)の絵画のような、不思議な魅力があります。



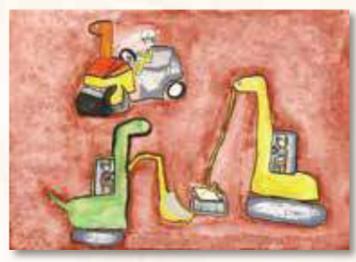
「未来の月移住計画」
梅田 大輔

評
ロボットを中心に、機械や建物が緻密に描かれています。同系色を使い分ける繊細な色彩表現も魅力的な、カッコいい作品です。



「働け未来のあなほり機」
三浦 彰造

評
未来の発掘ハンターを描いた映画やアニメのワンシーンのような面白い作品です。画面からは、冒険心とワクワク感が伝わってきます。



「安全第一でおつかれさます。ありがと」
片岡 柚菜



「羽柴秀吉が建てた日本の城」
筑田 軍司

最優秀賞

「彦根城と夏の空」
秋田 琉花



彦根城の存在感をしっかりと捉えた秀作です。雲や枝葉など動きのあるものを大胆な筆使いで表現したり、とっしりと時間を感じさせる石垣は緻密に描き込むなど、作者の創意工夫が伝わってきます。描くことの楽しさと作者の技量の高さが伺えます。

優秀賞



「琵琶湖大橋」
前田 百香

琵琶湖大橋の空のグラデーションが美しいエモーショナルな作品です。



「未来へ届ける美しい白髭神社」
八木 美優

夕日にゆらめく水面の表現が、印象派の絵画のようなタッチで描かれています。白髭神社の鳥居の赤と夕日の赤が呼応する素敵な作品です。



「家をつくる未来の自分」
村井 悠人

憧れの建築作業員になった未来の自分が描かれたとても味わい深い秀作です。背中で語る渋みのある姿は、ベテランの哀愁を感じさせます。



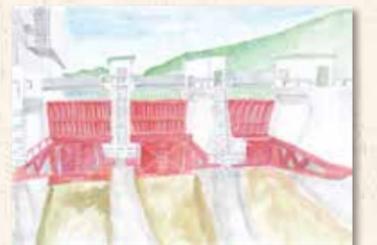
「工事中のバイパス」
山崎 悠愛



「ラウンドアバウト」
寺田 湊



「お願い」
北川 瑠宮



「農地のかんがい、発電する永源寺ダム」
大山 隼弥



「いつもの工事現場」
戸谷 優里



「滋賀県民を支える橋」
岩井 涼華

夢 Interview

琵琶湖の暮らしの風景を守るため 環境建築デザインの世界から漁師へ

ビワマスやニゴロブナ、アユなど数多くの湖魚が生息する琵琶湖。しかし漁獲量は昭和30年代をピークに減り続け、漁業従事者も減少しています。そんななか、大学院で環境建築デザインを学んだことをきっかけに漁業の世界へ飛び込んだという駒井健也さん。漁師として取り組む多彩な活動についてお話をうかがいました。



マルシェ直売では湖魚の水槽が子どもたちに人気

●まず最初に、環境建築デザインを学ぼうと思われた理由は？

生まれは滋賀の栗東で、幼いころは家の周辺に田んぼや小川があり、そこで魚やザリガニを獲って遊ぶのが当たり前の毎日でした。ところが道路拡張のために自宅が立ち退きになり、日常の風景が一変してしまいました。ふるさとを喪失してしまっただけでなく、思いはいつまでも心に残り、それが環境建築に関心をもつきっかけになったように思います。

●滋賀県立大学で学びながら国内外を自転車や車で旅してまわった際、ベネチアやガンジス川といった人と水が深く結びついた暮らしに感銘を受け、人々の生業や生態系も含めた豊かな水辺の暮らしの風景を創り出したいと考えるようになりました。

●建築から漁師の世界へ飛び込んだのはどういった経緯があったのでしょうか。

環境に配慮した建築デザインを学んでいると、必然的に湖と山、山と里が密接につながっていることを知るようになります。とくに琵琶湖の沖島では、漁業という生業によって景観をかたちづくられていて、大きな衝撃を受けました。こういった風景を持続していくためには、まず漁師という仕事がこの先も成り立たなくてはなりません。そこで、自分自身が「稼げる漁業モデル」をめざすことに決めました。



漁師×建築家をテーマに地元素材で造ったキャンピングカー

●現在、代表を務められている「フィッシャーアーキテクト」を設立された経緯は？



修学旅行で漁業体験に参加する高校生たち

最初は大学院で学びながら滋賀県の担い手育成制度を利用して志賀町漁業組合の親方のもとに弟子入りし、3年後に独立しました。ただ、私のようなかたちで後継者を増やしたとしても、限られた漁獲量を仲間同士で取り合っていたのでは先がありません。当初掲げたように「稼ぎ方」の多様なモデルをつくるため、漁だけでなく魚の直売や加工品の販売、体験ツアーを行うほか、琵琶湖を取り巻くさまざまな分野の人たちと交流することを考えました。その拠点を築くという意味で設立したのがフィッシャーアーキテクトです。

●お取り組みについて詳しく教えてください。

獲れた魚を販売店へ届けるほか、湖魚を佃煮やパテ、菓子などの加工品にし、それを地域のマルシェで直売したり、ネット販売も行っています。また漁体験では初心者向けの2時間クルーズや早朝から漁師の暮らしを体験するプログラム、サマーキャンプなども好評をいただいています。

「BIWAKO WORKS (琵琶湖とともにある仕事)」と名付けた取り組みでは、大学や行政、企業のほか、建築家や料理人など「コラボしてワークショップやイベントを開催しています。とくに昨年からはスタートした「BIWAKOアーティスト・レジデンス」は、芸術家が漁体験し、感じたことを作品として表現してもらって新たな取り組みです。私一人だけでは伝えられることに限りがありますが、さまざまな人とのつながりから琵琶湖の暮らしの魅力を広めてもらえれば大きな発信力になると考えています。

●今後の課題と展望についてお聞かせください。



●今後の課題と展望についてお聞かせください。
代表 駒井健也さん

栗東市生まれ、滋賀県立大学で環境建築デザインを学んだのち、びわ湖にて3年の漁師研修を経て独立し、2020年にフィッシャーアーキテクトを設立。滋賀県漁業協同組合青壮年会会員



「BIWAKOアーティスト・イン・レジデンス」でのトークセッション

フィッシャーアーキテクト
●大津市八屋戸944
●オンラインショップ <https://biwakeup.thebase.in/>
※イベント案内や出店情報は
公式ホームページ <https://biwako-fisher-architect.com/>
または「biwako_fisher_architect」インスタグラムにアップされています。

アセットマネジメント推進委員会が県外視察を実施

11月16日(木) 13時から、滋賀県版「ME(メンテナンスエキスパート)制度」(滋賀ME)創設に向けた研究のため、ME制度における先進県である岐阜県の事業所(㈱ニシノ)を訪問し、岐阜県のME制度やMEの実際の業務について聞き取りを行いました。

滋賀県建設業協会アセットマネジメント推進委員会から9名(委員6名、事務局3名)が出席し、㈱ニシノからは、現役ME2名を含む3名にご出席いただきました。

※ME(メンテナンスエキスパート)とは、老朽化が進む社会基盤(インフラ)の維持管理に関して高度な知識と技術を有する技術者のこと。



夢けんひろば

滋賀県建設業協会の活動についてご紹介するコーナーです。協会広報委員会のフェイスブックもあわせてご覧ください。

絵画コンクールの審査会を実施

10月10日(火)、夢けんプラザにおいて第11回「夢けんプラザ絵画コンクール」の審査会が成安造形大学の協力のもと開催されました。

県内50の小中学校、児童クラブより474点の応募をいただき、第1部、第2部、第3部より最優秀賞、優秀賞、入選の合計30点の入賞作品が決定しました。

また、最優秀賞作品については、下記の日程で各学校を広報委員長が訪問し、表彰状授与式を執り行いました。

この事業が受賞者にとって、いい思い出となり、この機会を通じて建設業への理解とイメージの向上につながって欲しいと思います。

- 第1部 大津市立仰木の里小学校
令和5年12月14日
- 第2部 近江八幡市立金田小学校
令和5年12月14日
- 第3部 近江八幡市立八幡西中学校
令和5年12月19日



高校生を対象に現場見学会を開催

12月15日(金)、滋賀県立国際情報高等学校の2年生27名を対象に出前授業、現場見学会を開催しました。

はじめに建設業協会女性活躍推進グループ「建設COCO倶楽部」による出前授業を行い、建設業の紹介・建設業界の現状などについて講話を行いました。

その後、栗東市の大津能登川長浜線の現場工事(㈱明豊建設)を見学。工事概要の説明やロードローラー試乗、ドローン操作を体験していただきました。



PRイベント「おしごと参観日」を開催

建設業PRイベント「おしごと参観日～見て～聞いて～知ろう!建設業のあれこれ」を、11月9日(木)に滋賀労働局、大津公共職業安定所との共催で開催しました。

建設業界に興味のある方を募集したところ、女性を含む15人が参加。最初に座学、続いて工事現場の見学を行い、建設の仕事を手近に感じてもらいました。

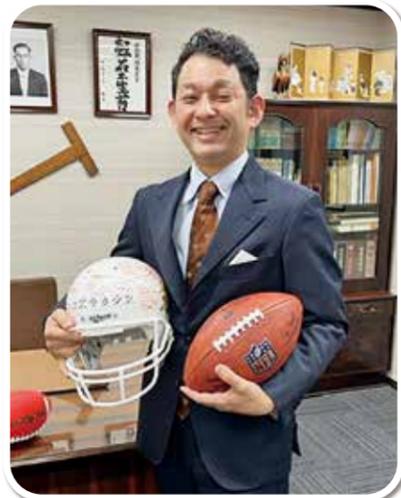
座学では、本協会リクルートキャラバンメンバー3名が講師となり、業界の魅力をPRしました。建設業においても建設機械の遠隔操作や作業のロボット化が進むなか、他の多くの産業と同様に、これからはAIに負けない人材、AIを使いこなす人材になる必要があると説明。そのうえで、建設業には29業種あることや、そこで活躍する施工管理技術者、専門工事業者の役割や魅力を紹介し、資格の取得でキャリアアップしやすく、女性も活躍できる業界であること、「意外と休めて給料もよい」ことなどを説明しました。



座学の後、大津市発注の中消防署移転新築工事現場へ移動し、参加者は実際の建築現場を見学しながら、工事の進め方や近年の取り組み内容等の説明を聞くことができました。

参加者アンケートでは、約8割が「イベントに参加して有意義であった」と回答、イベントに参加した感想として、「3Kのイメージが覆った」「以前より働きやすい現場に変わっている」「安全・環境面が良くなっている」「ハイテクな職場だと思った」など肯定的な意見が多く、建設業を手近に感じてもらうことでイメージを変えてもらう有意義なイベントとなりました。

仕事の達人、遊びの達人 私のオフタイム



アメフトの歴史を繋ぎ、
スポーツで地域を元気に



女子選手が多く活躍する「長浜HEROES」

株式会社材光工務店 伊藤 和真

滋賀県アメリカンフットボール連盟の理事をしていた叔父に勧められて、NFL(ナショナルフットボールリーグ)の試合を観てすっかりハマってしまった、ブログ「NFL超入門」を開設してアメフトの情報を発信してきました。

ここ長浜は、戦後間もない頃、2つの公立中学校にタッチフットボール部が創設され、その後湖北地域のすべての高校にアメフト部が創設されて、日本のアメフトの草分け的な地域として知られるようになりました。

けれども少子化が進み、大人数で行う競技はメンバーの確保が難しくなって、クラブ活動の存続が危ぶまれるまでになっていることを知り、長浜のアメフトの歴史を残し、スポーツ交流で地域の活性化に繋がらないかと考えるようになりました。

そして、2021年に長浜フットボール協会を立ち上げて代表に就任、その後小学生のクラブチーム「長浜HEROES」の活動をスタートしました。

フットボールは、アメリカンフットボールを起源に生まれたスポーツで、チーム5人と少人数で行い、小学生でも安全に楽しむことができます。長浜バイオ大学のグラウンドで、毎週土曜日に行う練習では、大学時代アメフト部で活躍したコーチが子どもたちを熱心に指導しています。



クラブチーム「長浜HEROES」のみなさん



タックルの代わりに腰につけたフラッグを取る「フットボール」

スタート時13名だったメンバーも37名になりました。「長浜HEROES」は女子選手の比率が高いことが特徴です。フットボールの魅力は、体が小さくても、運動神経がずば抜けて良くなっても、足が遅くても、一人ひとりが個性を発揮できることです。チーム名もメンバー全員がヒーローになれるというイメージで命名したものです。

子どもたちには、勝つことを第一の目的にするのではなく、楽しみながらみんなで協力してうまくいった時の感動を経験してほしいと考えています。そして、いつか子どもたちと一緒に本場アメリカを訪問して、交流を深めることができたらと思っています。

水谷醤油醸造場

ひびこれこうじつ 『日日是好日』

会社情報
〒522-0047 滋賀県彦根市日夏町3850
TEL. 0749-28-1384
公式サイト
<https://www.mizutani-shoyu.com>



木桶仕込み天然醸造の「日日是好日」



5代目の水谷 勝彦さんと6代目の優太さん



長く地元で親しまれているヤマタ醤油

大学卒業後、家業を継ぐことを決意した6代目の水谷 優太さんは、新しいブランド創りに取り組み、約50年絶えていた木桶仕込みを復活することを決意します。そして、2022年から発売することになった天然醸造の濃口醤油を「日日是好日」と命名しました。

禅のことばである「日日是好日」は「毎日が素晴らしい」という意味で、そこから「毎日が良い日になるよう努めることが大切」「すべての日があるがまま受け入れる」「この日こそかけがえない瞬間」といった意味で用いられています。

「日々をより良くする醤油を届けたい」という想いを込めた「日日是好日」は、さまざまな食材の味と香りを引き出しつつ、料理を飽きずに食べ続けられる調和を大切にするため、甘味、塩味、酸味、苦味、うま味の五味をバランスよく引き出して、日々の食事を楽しくする醤油を目指しています。

目指したのは「日々をより良くする醤油」

伏流水が豊富で発酵に適した彦根市日夏で嘉永6年(1853年)に創業した水谷醤油醸造場は、「ヤマタ醤油」ブランドで地元で親しまれてきました。



発酵の度合いを見ながら手をかけて育てていく

普通、醤油の醸造期間は6カ月ほどですが、四季の気温の変化に任せる天然醸造では、発酵熟成に「二夏一冬越す」ことが必要で、最低でも出荷までに1年半かかります。木桶仕込みの醤油が醤油全体の流通量の1%ほどと言われるのにもうなずけます。「桶ごとに発酵の度合いを見極めながら、手をかけて大切に育てることで美味しい醤油になってくれる」と語る水谷さん。

原材料にもこだわって、滋賀県産の丸大豆「フクユタカ」と小麦「ミナミノカオリ」、塩は海水を天日で乾燥させてつく「天日塩」で、いろいろな材料を試して納得のいく味にたどり着きました。

旨味が強いのに、上品でやわらかな口当たりが特徴で、そのため、白身の魚にも赤身の魚にもよく合うことから、「海鮮丼がお勧め」と



二夏一冬を越してゆっくり醸造される醤油

「醤油造りに誇りを持てるような仕事をしたい」と言う水谷さん。見学希望者に蔵を開放しているのも、「子どもたちが、お醤油屋さんってカッコいいな」と思ってくれるようになりたいから。仕事は3Kですが、それを補う喜びや達成感があります。その魅力をアピールしていきたいと考えています。

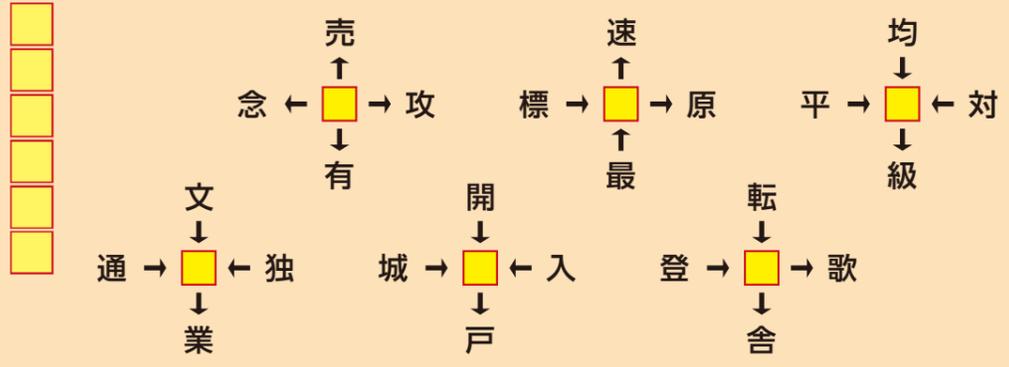
3月からは「日日是好日」をベースにした柚子ポン酢とだし醤油、甘口醤油が発売されて、「日日是好日」の魅力がさらに広がることを期待を寄せています。

「日日是好日」は高級スーパーや県内の道の駅などで販売されているほか、オンラインショップでも購入することができます。

言う水谷さん。主張をし過ぎないので、さまざまな食材の持ち味を引き立て、さらに調理に使っても少量で醤油の香りが広がるため、まさに名脇役と呼べる醤油として、食にこだわる消費者やプロの料理人から高い評価を得ています。



パズル クイズ
漢字の穴埋めクイズ
□に入る漢字を見つけてください。
い。6つの漢字をつなぐと、
ヒント 特集「話題の焦点」



前号の答え
マザーレイク

パズル&クイズ当選者

- 西村 道子さん
- 鍋島 道雄さん
- 中小路 栄さん
- 田中 定子さん
- 大谷 美幸さん
- 平地 昌真さん
- 岩崎 淳子さん
- 梅下 良一さん
- 折坂あかねさん
- 柴田 正治さん

応募方法

- P&Q及びアンケート(返信用添付ハガキ)の両方にお答えいただいた方の中から抽選により粗品を進呈します。ふるってご応募ください。
- 別のハガキにてご応募の方も住所、勤務先(学校名)、氏名及びP&Qの答え、アンケート、メッセージ等を書いて送付してください。
- 締め切り
令和6年6月20日必着
- あて先
〒520-0801
大津市におの浜一丁目1-18
(一社)滋賀県建設業協会 広報委員会

季刊夢けんせつ春号
◆
2024年(令和6年)4月10日
通巻第699号
発行 一般社団法人滋賀県建設業協会
〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18
TEL.077-522-3232(代)
FAX.077-522-7743
https://www.yumeken.or.jp
企画編集 広報委員会
協力・印刷 宮川印刷株式会社

取材のぼれ話

守山市の下之郷遺跡は耳にしたことがありませんが、今回の取材で「伊勢遺跡」のことをはじめに知りました。南北450メートル、東西700メートル、面積約32ヘクタール、弥生時代後期のものとしては最大級で、日本の国家としての成り立ちを知るうえでたいへん重要な遺跡であると聞き、滋賀という地域が歴史の中で実に重要な役割を果たしてきたことがわかりました。

発掘調査を行った後、遺跡を埋め戻し、その上に公園を整備するという保存・活用手法もこれまであまり例のないことだそうです。

古代の舟をイメージした大屋根が印象的な遺構展示施設は、建築家平田晃久さんの設計によるもので、開園以来、多くの建築関連の方が見学にいられているそうです。一部がスクリーンになっている杉材の天井や、足元の強化ガラスの下に復元された大型建物の柱の穴など、展示にも工夫が凝らされています。

それにしても測量機器も建設機械もない時代に、大型の建物をどうやって建設したのでしょうか？ぜひ、施設を訪ねて復元された柱の穴を間近に見るなどして、遺跡の規模の大きさや弥



園内には散策路が整備されている。



楼観と呼ばれる大型建物の柱の位置が表示されている。

生時代の人々がたいへん優れた建築技術を持っていたことを感じ取っていただければと思います。



近江米の新品種『きらみずき』
滋賀の持続可能な農業のシンボルに！

古くからの米どころとして知られる近江の国。滋賀県独自のブランド米も開発されており、2013年の「みずかがみ」の登場以来10年ぶりとなる新品種が誕生したのを存じでしょうか？昨年秋から県内で販売がスタートし、今年から本格栽培が始まる「きらみずき」。大粒でしっかりとした食感と、すっきりとした瑞々しい甘さが特徴で、噛むほどに甘みが広がり、食味官能検査ではコシヒカリと同等以上の評価を得ていることでも話題となっています。

大きな特徴は栽培方法にあり、オーガニック栽培をはじめ、「環境こだわり栽培」のなかでも、化学肥料や殺虫・殺菌剤を使用しない、より厳しい基準で栽培されている点。これだけ厳しい栽培基準を県域で設けた米はきらみずきが全国初になるといえます。

近年、夏の高湿や長雨など気候変動の影響によって収量や品質の低下が大きな課題となるなか、滋賀県では農業技術振興センターが中心となって2009年から新品種の開発が進められて



「滋賀83号」の呼称で開発が進められた新品種は、公募で「きらみずき」と名付けられた

きました。13年の歳月をかけて生まれたきらみずきは、食味や収量性、玄米外観品質のほか、台風などでも倒れにくく、高温に強い特性をもち、さまざまな気象条件でも安定して栽培しやすい品種となっています。

琵琶湖にやさしく、持続可能な農林水産業をめざす滋賀県にあつて、近江米の主力品種となることが期待されています。



滋賀県内のスーパーなど店頭販売を中心に、各種通販サイトでも販売されています



販売開始時には「きらみずき」デビューイベントを開催



大粒で食感がしっかりしており、甘味があって食べやすいとの評判

滋賀県農政水産部みらいの農業振興課
●大津市京町四丁目1番1号
●077-528-3892

After Word

今回は特集として滋賀県立高等専門学校について滋賀県の高専設置準備室に話を伺いにまいりました。

建設系のコースが設けられ高度専門技術を学ぶ場ができることは、建設業界にとっては喜ばしいことで、建設業への入職者の増加につながるものと期待していましたが、現段階では総合学科として理系単科のみでコース選択は2学年進学時となり、学年により人数にばらつきがでることも考慮されます。

県としては理工系に進学する子供を増やし小中学生に対しアピールすることを考えておられますが、我々広報委員としては建設コースに進む学生を確保できるのか、また県内の建設業者に就職してくれるのかが大変気になりました。

その他、課外授業やインターンシップ、実務教員の派遣などを通し建設業協会との連携・共創を考えているとのことでした。

滋賀県建設業協会広報委員会におきましても、更なる若年層への建設産業の魅力・やりがいを伝え、優秀な建設技術者を輩出してもらえるよう協力していかないと感じました。

高専のことが気になるという方は、滋賀県HPにて高専設置基本構想(案)を挙げられているのでそちらをご覧ください。また『滋賀県立高専共創フォーラム』(登録無料)にてコミュニケーション・情報共有を図られていますので、応援団として登録(企業・個人どちらでも可)されるとよいと思います。

この夢けんせつでも開校前には再度取材を行い、この機運を高めていきたいと思います。

夢けんせつフォトコンテスト、毎年力作ぞろいで素晴らしい企画だと思います。次回こそ誌面に載りたいです！

「ズレンガ」はじめて知りました。滋賀の木材で作られているので、もっと広まればよいと思います。

久しぶりにフォトコンテストに応募しました。A4サイズで応募できるようになったので、今後も続けたいと思います。

庄の本パークは特に興味深く拝読しました。「SDGs」と上から構えるのではなく、気づいたら…というところが素敵です。

外国産の材木が安く輸入されるため、日本の林業は大変厳しい状況です。できるだけ県産材を活用されることを望みます。

「へんないも」何回か食べました。甘くておいしかったです。小さな芋も商品になるのがフードロスでも良いということの記事を読んで知りました。

VOICE 読者の声

「夢インタビュー」の記事に惹かれて冊子をもらいました。頑張ってください。

夏休みに孫が絵画コンクールに応募しました。子どもたちが建設業にあこがれる絵画展などの取り組みを、今後も続けていただけるといいなと思います。



一般社団法人 滋賀県建設業協会
www.yumeken.or.jp